

新宮山彦ぐるーぷ第2067回

浦向道（行仙宿↓下北山村浦向）の巡回整備

◇実施日…2020年2月9日（日） 晴

◇参加者…生熊敏男、畑林清子、大江加予子、児嶋道夫、上村洋司・和美、山川治雄、岩本信行、志岐敬、梶野照雄。

10名

午前6時43分に志岐さんを吉野口駅で拾って池原に向かう。国道169号は、杉の湯から西原まで、少ないながらも積雪があり、橋梁など一部に凍結も見られた。しかし気温はさほど低くは無く、新伯母峰トンネルで0℃だった。



新伯母峰トンネル北口

R425を歩く

登山口に到着

8時半に池原に着き、トイレを済ませて役場に向かう。役場には新宮、熊野の8名が到着していた。10名全員を一台の車で

運ぶことができないので、沖崎車運転の上村さんをお願いし、2回に分けて登山口まで運んでいただく。新宮組6名に先行してもらい、山川、岩本、志岐、梶野の4名は森林組合倉庫に車を停めて歩いて登り始めた。25分ほど歩き、急坂の手前で沖崎車が到着。4人が乗り込み登山口に着く。



行仙宿到着



ソーラーパネルの除雪



ザックは先にモノレールで荷揚げしたので、空荷で登り始めた。時折風が強く吹き、第二ベンチ上の伐採跡地では少し寒さを感じた。

行仙宿に到着、本日は行仙宿での作業は予定していないが、屋根のソーラーパネルの除雪と、小屋内の掃除機掛けを行った。

11時半に早めの昼食とする。食後はコジマカフェも開店し、女性陣から差し入れのお菓子で談笑した。

12時15分、全員で写真を撮ってから出発。車の回送担当の生熊さんに、午後3時森林組合倉庫に着予定を告げ、空のガソリン缶をモノレール迄持ち降ろした。

山川さんは倒木に備えて小型のチェーンソーを持参、私は整備

のため行仙宿のチェンソーを一台担いで降りる。



出発前全員で

川島橋、異常なし

道標追加

積雪は2〜3cmで凍結は無かったが、濡れた木の根は滑りやすく、一度しりもちをついた。川島橋を通過、異常なし。林道合流迄に道標を2本追加設置、林道合流手前のトラバース道もスムーズに通過できた。ここまでに倒木は無かった。

林道に合流



最後の道標設置



崩れた個所にロープ



林道から植林帯に入る入り口の標識を手直しする。支柱の丸太が腐食して、木ネジが十分に止まらなかったが、角材を添え木にして何とか固定した。支柱の交換が必要だ。

下部の植林帯にも倒木は皆無でチェンソーの出番は無かった。飛び出した枝を切りながら順調に歩き、沢詰の廃屋の場所で休憩。沢を渡らず直進して登った人がいたことから、最後の道標をここに設置した。

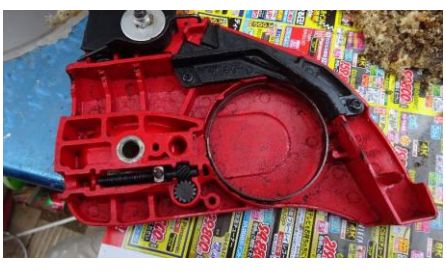
林道から下に積雪は無く、登山道もいつも通りだった。昨年間違えて下ってしまった20番鉄塔の巡視路入り口に倒木を集めてバリケードを作った。

十津川橋の40分ほど手前に10m弱の崩れた個所があり、ロープを張って安全を確保した。午後3時に森林組合倉庫に降り立つ。次回の行事参加のお願い、来月予定の南奥駆道巡視への協力をお願いして解散した。

森林組合倉庫に到着



チェンソー清掃中



行仙宿から持ち降ろしたチェーンソーは、翌日分解清掃したが、オイルと切りくずが固まってこびりついていて、きれいにするのに一時間近くかかった。使用後すぐに掃除するのが理想なのだが、長期間おくとオイルが硬くなり、取り除くのに時間が2倍ほど必要になる。

(記；梶野)

行動タイム

下北山村役場09：00→09：53補給路登山口→10：44行仙宿12：18→13：20林道合流→14：08沢詰廃屋→15：00森林組合倉庫